



第359回市民の劇場 **祝「第40回ぎふアジア映画祭」**

市民スタッフ…大江 繁美



「予兆〜散歩する侵略者」 奥沢高監督×高橋洋 (脚本) スペシャルトーク

ぎふアジア映画祭は、平成30年に40回を迎えました。私は2002年からこの映画祭の市民スタッフとして、映画の選定やチラシ作り、上映当日の受付まで、普段では携わることのない色々な仕事のお手伝いにかかわらせていただいております。この17年のあいだには沢山の思い出がいっぱいと出会いがあり、また市民スタッフの仲間、映画祭にお迎えしたゲストの皆さん、行政の方々、そして映画を観に来て下さった大勢のお客様との出会いがありました。これらの出会いは私たちの財産！感謝しかありません。これからも私たちが楽しい映画祭を、お客様の興味が広がってゆくような映画祭を、少しでも続けていけたら、とても嬉しく思います。



映画「ロープは高過ぎた」・「白七つた女」 フィリピン演劇の清水英先生  
映画「でんぱん」 徳島県立徳島ノリノリさん！ お客様と一緒に体験  
「40回記念 もう一度上映してほしい映画」 多くのお客様にご覧いただきました。

次回、第41回ぎふアジア映画祭 お楽しみに！！



40回を迎えたぎふアジア映画祭  
これまでのスペシャルゲストをご紹介します！！



大林 宣彦 監督 木村 大作 監督 黒沢 清 監督 石井 裕也 監督



ヤン・ヨンヒ監督 酒井 克子監督 鈴木 卓郎監督 今井 友樹監督 高賢慶(特別)



ストリンダ(特別) 江藤 夏子(特別) 古沢 良太(特別) 水野 衛子(特別)

40回を迎えたアジア映画祭  
今までに多くのゲストをお招きしました。  
ご紹介した以外にも多くのゲストに幸ひいただきました。

もう一度上映してほしい  
作品ベスト10！！



©2018 この世界の片隅に 監督 片岡 健夫

- 1位 この世界の片隅に(日本)
- 2位 運動靴と赤い金魚(イラン)
- 3位 かもめ食堂(日本)
- 4位 紅いコーリャン(中国)
- 5位 恋情城市(台湾)
- 5位 さらばおが愛 霸王別姫(香港)
- 5位 きつと、うまいく(インド)
- 5位 飢餓海峡(日本)
- 9位 日本のいちばん長い日(日本)
- 10位 弁護人(韓国)
- 10位 瀬戸内少年野球団(日本)

「木靴の樹」アンケートより

35年前に大学生だった私は、年に100本も映画を観る程の映画好きでした。病床で「今観た映画の中で一番「木靴の樹」がよかった」といって35年前に亡くなりました。明日は彼岸、墓前でこの映画の話をしてきます。まさかここで私の大好きだった映画に出会えるとは夢のようです。企画をして下さりましてありがとうございました。映画の内容は確かにとてもとても素晴らしいかったです。私の言っていた事がよくわかりました。



第360回市民の劇場 市民スタッフ企画Vol.16 文化センター寄席

『しゃべれどもしゃべれども』映画上映と昔昔亭A太郎独演会

市民スタッフ…坂口 佳子



今回の市民スタッフ企画は、これまでとは違い「落語」を取り上げました。二ツ日の落語家の物語「しゃべれどもしゃべれども」の映画上映と、岐阜県出身の二ツ日の落語家昔昔亭A太郎さんとゲストの香園亭柳若さんのお二人を迎え、落語を楽しむ企画となりました。会場は文化センター催し広場！今までの「歌謡コーナー」もなく、どくらいの方に興味を持っていただけるか予想できず、広い会場に多くのお客様をお迎えすることが出来るの心配していましたが、最近の落語人気もあり、予想以上に幅広い年代の多くのお客様にご来場いただき、市民スタッフ一同胸をなでおろしました。特にA太郎さんは実力があるだけでなくイケメンで、終了後もファンに取り囲まれていました。その場でファンになった方があるとお聞きしています。市民スタッフも着物でのお迎えをするなど、楽しませていただきました。この「文化センター寄席」の最初の一歩となる公演に力をもらい、次回もパワーアップしてこのように気持ちになりました。



**昔昔亭A太郎さんプロフィール**  
岐阜県出身。落語芸術協会所属、二ツ日の落語家。落語芸術協会二ツ日ユニット『成金』メンバー。  
平成19年2月、昔昔亭A太郎に入門。平成22年2月、二ツ日昇進。  
平成27年、第一回流石らくご特別賞『奇妙な二ツ日賞』受賞。  
京都市立松原中学校、京都府立山城高校卒。



- お客様アンケートより**
- ・映画と落語会のジョイントという企画が珍しく楽しめるものだった。
  - ・映画よし、A太郎・柳若の若手落語家のハツラツとした勢いが魅力。
  - ・落語いいねえ、来年も！この企画、毎年あってほしいと思います。
  - ・映画も落語もとてもよかったです！お得益しました。
  - ・受付の女性スタッフの皆様笑顔が素敵です。

「研修②」 不二羽島市文化センターでの研修について 市民スタッフ…中村 三郎

2月25日(月)に、羽島市文化センターへ交流研修会に行きました。主催事業の前の僅かな時間でしたが貴重な体験ができました。活動としては…  
①ボランティアの参加メンバーで「めだか畑」を結成した。(劇場ポスター)  
②月一回の定例会を開催している。  
③センターから依頼のあった公演・行事の受付をすべて対応している。  
④活動中の服装は同じユニフォームを着用している。(全身統一で白いシャツ、ベスト、グレー、黒いパンツという素敵な案い)  
⑤センターの七夕・クリスマスなどの飾りつけを会で行っている。等々…  
今後先進的な他館のボランティア活動を研修で学びその成果を岐阜市文化会館G-freeの活動に生していきたいと思いをしました。



不二羽島市文化センター「地産地消 日本センターユース・交流研修会(2018年)」開催中。ボランティア活動と研修の両方を同時に楽しんでいる様子。女性会と男性会の様子。

ぎふアジア映画祭 特別企画 「幕末太陽傳」スペシャル落語講座 講師：小林昌廣先生 市民スタッフ…金子 国義

今年度の「ぎふアジア映画祭」では、節目記念企画「恋スル名作」として、川島雄三監督生誕100年の記念に当たることで「幕末太陽傳」を取り上げた。この映画は、日本映画史を飾る名作の1本ですが、古典落語を素材に展開された喜劇映画の傑作としての評価も高い。今回は特別企画として映画鑑賞後、講師・小林昌廣氏(情報科学芸術大学院大学【IAMAS】教授)による「スペシャル落語講座(川島雄三と落語〜「幕末太陽傳」の世界〜)」を開催した。映画界に輝いた川島監督の功績や映画製作当時の日活の事情、「居残り伍平次」「三枚起請」など映画には落語の素材がかなり盛り込まれていることや素材となった落語を演ずる古今亭志ん朝ら楽家の映像など豊富な内容に堪能した特別講座でした。

